**旧バージョンをご使用の場合は「１０」の項を参照して現在使用中のバージョン以降をご覧ください。（変更しないと動作しません！）**

**重要！**

**Excel差し込み印刷説明書**

（説明書修正版）

*Version　2.00*

***（Excel 2021,2016に対応）***

***2025.05.31***

***By Tatsu***

著作権：　　　 著作権は本プログラムの作成者にあります。

配布・転載：　 プログラムの配布、転載等は一切お断りします。

**目　　次**

[１ この説明書の使用方法 - 1 -](#_Toc219984256)

[(1) ペーパーレスで使用すると図や説明文の参照が簡単になります。 - 1 -](#_Toc219984257)

[(2) Wordの「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法： - 2 -](#_Toc219984258)

[(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。 - 2 -](#_Toc219984259)

[(4) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。 - 2 -](#_Toc219984260)

[(5) プログラムの使用にあたってのご注意 - 2 -](#_Toc219984261)

[２ 添付の「Excel差し込み印刷サンプル\_1.xlsx」の差し込み先シート - 3 -](#_Toc219984262)

[(1) 「上期会費集金A4用紙」印刷プレビューイメージ画像 - 3 -](#_Toc219984263)

[(2) 「集金洋形1号封筒」印刷プレビューイメージ画像 - 4 -](#_Toc219984264)

[(3) 「上期会費領収書」印刷プレビューイメージ画像 - 5 -](#_Toc219984265)

[３ プログラムの目的・特徴 - 6 -](#_Toc219984266)

[４ インターネットからダウンローしたファイルの内訳 - 6 -](#_Toc219984267)

[(1) 解凍したファイルの内訳 - 6 -](#_Toc219984268)

[５ 配布用ファイルの説明とインストール・アンインストール - 7 -](#_Toc219984269)

[(1) インストール前の注意事項 （重要） - 7 -](#_Toc219984270)

[(2) インストール - 8 -](#_Toc219984271)

[(3) アンインストール - 9 -](#_Toc219984272)

[(4) 新バージョンに更新する場合 - 9 -](#_Toc219984273)

[６ 「Excel差し込み印刷」アドインプログラムの使い方 - 10 -](#_Toc219984274)

[(1) 「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」の説明 - 10 -](#_Toc219984275)

[(2) 「差込データ選択」コマンドアイコンの機能の説明 - 10 -](#_Toc219984276)

[(3) 「差込データ選択」ダイアログの説明 - 10 -](#_Toc219984277)

[(4) 「差込データ選択」ダイアログ\_操作方法 - 11 -](#_Toc219984278)

[(5) 「差込元データ\_会費集金」シートの説明 - 11 -](#_Toc219984279)

[(6) 「上期会費集金A4用紙」シートで「印刷プレビュー」ボタンを操作する説明 - 11 -](#_Toc219984280)

[(7) 「差込元データ\_会費集金」シートのセルの関連についての説明 - 13 -](#_Toc219984281)

[(8) 「上期会費集金A4用紙」シートの設定についての説明 - 14 -](#_Toc219984282)

[(9) ユーザー用のファイルを作る場合（重要） - 15 -](#_Toc219984283)

[(10) ユーザー用データファイルを作る場合 - 15 -](#_Toc219984284)

[(11) シートの初期化コマンドアイコン - 16 -](#_Toc219984285)

[(12) 「選択シートの保存」コマンドアイコン - 16 -](#_Toc219984286)

[(13) 「サンプル2\_下期会費集金A4用紙.xlsx」の説明について - 16 -](#_Toc219984287)

[(14) 「サンプル3\_集金洋形1号封筒.xlsx」の説明について - 16 -](#_Toc219984288)

[(15) 「サンプル4\_上期会費領収書.xlsx」の説明 - 16 -](#_Toc219984289)

[(16) 「サンプル5\_ALL\_A4用紙.xlsx」の説明 - 16 -](#_Toc219984290)

[７ 印刷関連グループの説明 - 17 -](#_Toc219984291)

[(1) 「印刷プレビュー」コマンドアイコンの説明 - 17 -](#_Toc219984292)

[(2) 「すべて印刷」コマンドアイコン - 17 -](#_Toc219984293)

[(3) 「デバイスとプリンター」を表示して「印刷ジョブ」を＜キャンセル＞する - 18 -](#_Toc219984294)

[(4) 「ステップ印刷」コマンドアイコン - 19 -](#_Toc219984295)

[(5) 「ページ指定印刷」コマンドアイコン - 19 -](#_Toc219984296)

[(6) 選択範囲対象セル転送コマンドアイコン - 20 -](#_Toc219984297)

[８ トラブルが起きた場合 - 21 -](#_Toc219984298)

[(1) 差し込み文書タブが表示しない、ダイアログが操作できない、その他の異常 - 21 -](#_Toc219984299)

[９ 必要な時だけ「差し込み文書」タブを表示する方法 - 22 -](#_Toc219984300)

[１０ バージョンの変更内容 - 22 -](#_Toc219984301)

[(1) バージョンアップについてシートなどの変更内容 - 22 -](#_Toc219984302)

[１１ 拡張子の説明 - 23 -](#_Toc219984303)

[(1) 拡張子について - 23 -](#_Toc219984304)

[(2) Windows11の拡張子の表示方法： - 23 -](#_Toc219984305)

# この説明書の使用方法

## ペーパーレスで使用すると図や説明文の参照が簡単になります。

この説明書ではファイル種別を分かり易くするために「拡張子」を付けて説明しておりご利用者にも設定を推奨します。Wordで使用する「Excel差込印刷説明書 V200.docx」はファイルサイズが大きいため作者のホープページでダウンロードして使用できるようにしていましたが都合で2025年9月末にホープページを廃止しました。以下で説明しているようにPdf版は不都合な点があるためWord版でのご使用をお勧めします。

説明書の「目次」や各章にある 青い文字（「 」で囲まれた部分） をクリックすると、対応する図・表・説明へ移動できます。

例えば、最初にある青い文字「拡張子」をクリックすると、最後のページにある「拡張子について」にジャンプして参照できます。

Wordでこの説明書を開いている場合は、青い文字の上にカーソルを置くと「Ctrlキーを押しながらクリックしてリンク先を表示」と表示されます。案内どおりに操作すると、参照先へ移動できます。離れた場所を参照したいときに便利です。

以下には「(2)Wordの「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法：」もあります。

Pdf版の説明書「Excel差込印刷説明書 V200.pdf」で「Acrobat Reader」使用の場合は「手」のマークを表示するのでそのままクリックするとリンク先の「図」にジャンプし、ショートカットキーの「Alt ＋ ←」キーで戻り、進む場合は「Alt ＋ →」キーを使用して内容を理解し易くなります。検索は「Ctrl ＋ F」キーで開きます。

Word版の本説明書は正確に動作しますが、Pdf版を使用する「Acrobat Reader」の場合は、位置を少し外れるので非常に使いにくい点があります。特に「図」の場合で参照元と参照先が同一ページの場合「戻る」で正確に元の位置に戻れないような気がします。（Acrobat Reader Proは分かりません）本説明書はWordで作成したものをPdfに変換して作っていますが「相互参照」の「青色」の色が抜けて、総合参照が分かりにくい点があります。WordでCtrl + A により文章全体を選択してAlt+F9によりフィールドを更新する場合も参照もとの青色が抜ける昔からのWordのバグがあります。このため「検索」で「参照元」をすべて探し「青色」になるように直さなければなりません。

Edgeで「Excel差込印刷説明書 V200.docx」を開くと読むことは可能ですが、上記のショートカットキー「Alt + ←」または「Alt + →」などが使えません。

本説明書をペーパーレスで使用する場合、「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」と、この「Excel差込印刷説明書 V200.docx」を同時に開き「図 1　タスクバーを使用」の図のように「Excel」と「Adobe Reader」をタスクバーで切り替えながらマルチタスクによる操作で「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を実践して本説明書を読むと理解し易くなります。

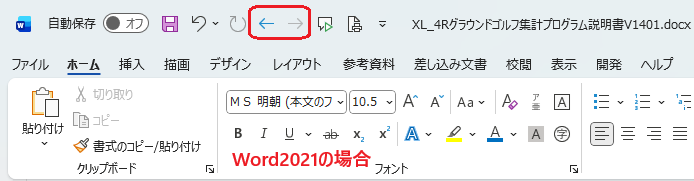
図 1　タスクバーを使用



## Wordの「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法：

Word2021の場合「図 2　Wordの「戻る」、「進む」ボタンの表示」図の、赤枠で囲っているようにクイックアクセスツールバーの中に「戻る」、「進む」ボタンを作るにはクイックアクセスツールバーの右端にあるドロップダウンをクリックして＜その他のコマンド(M)＞－ Wordの「オプション」ダイアログボックスを開き「クイックアクセスツールバーをカスタマイズします」の下にある「コマンドの選択(C)」リストボタンで＜すべてのコマンド＞－「戻る」ボタンをクリック－＜追加(A)＞を押します。同様に「進む」ボタンをクリック－＜追加(A)＞－＜OK＞を押します。（たくさん記号があるので根気よく「戻る」と「進む」を探す必要があります）

図 2　Wordの「戻る」、「進む」ボタンの表示



## 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。

Wordの場合は「表示」タブの「ズーム」をクリックし「指定(E)」に適当な数字を入力して見易くしてください。拡大していくと単一ページでも表示できます。

「Acrobat Reader」では＜メニュー＞－＜表示＞－＜ズーム＞で倍率指定をします。  
＜表示＞－＜ページを表示＞－＜単一ページ表示＞で1ページだけ表示できます。

## この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。

＜ホーム＞タブ－＜編集＞グループ－＜検索＞リストをクリック－＜高度な検索(A)＞をクリックし－「オプション(M)」ボタンで「あいまい検索」のチェックを外します。

「検索する文字列(N)」ボックスに検索文字を入力して説明場所を探す方法が便利です。（「あいまい検索」のチェックボックスはOFFの方が探し易いので何時もOFFで探しています。）

## プログラムの使用にあたってのご注意

フリーソフトですが、著作権は放棄していません。プログラム、説明書、関連するものを別のすべての媒体へ複製または、頒布、転載などのすべてを禁じます。

このソフトの使用による直接的、間接的なあらゆる損害の免責を、承諾の上でご使用ください。

このアプリのダウンロードは安全なベクター(Vector）から「Excel差し込み印刷(アドイン版)2.00」をダウンロードしてご使用ください。

Excelのすべてバージョンや使用機器で完全な動作確認をしているものではありません但し、添付したデータファイルの「サンプル1\_\*.xlsx」などは名前の変更をしてユーザーが、ご使用されても構いません。

（開発や動作試験の確認については配布ファイルReadme.txt　に記載したとおりです）

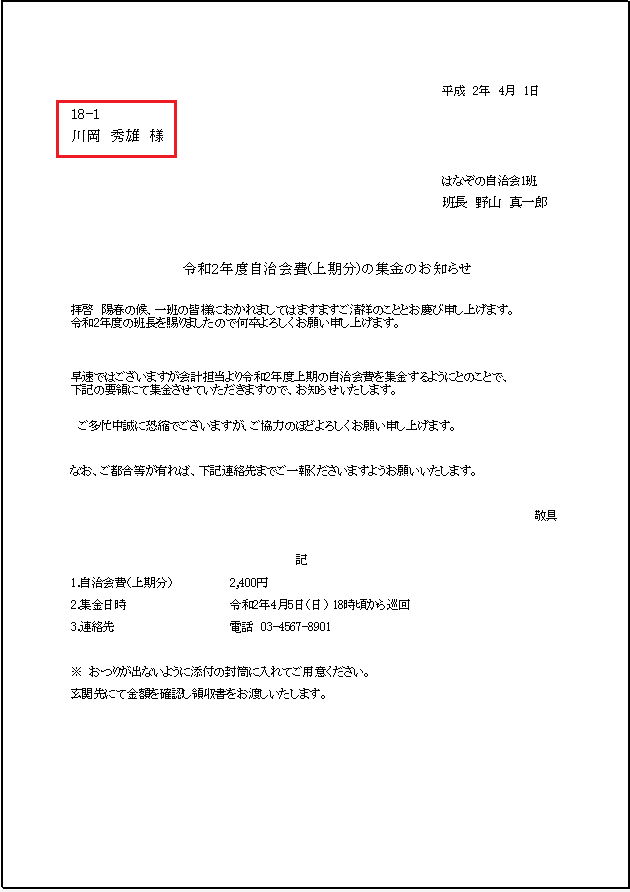
このサンプルで使用する団体名、地名、番地・氏名・電話番号・その他の項目はすべて架空のものです。

# 添付の「Excel差し込み印刷サンプル\_1.xlsx」の差し込み先シート

## 「上期会費集金A4用紙」印刷プレビューイメージ画像

赤枠内が差込されたデータです。赤枠内は「番地」と「氏名」が2行挿入されています。

図 3 宛名を挿入

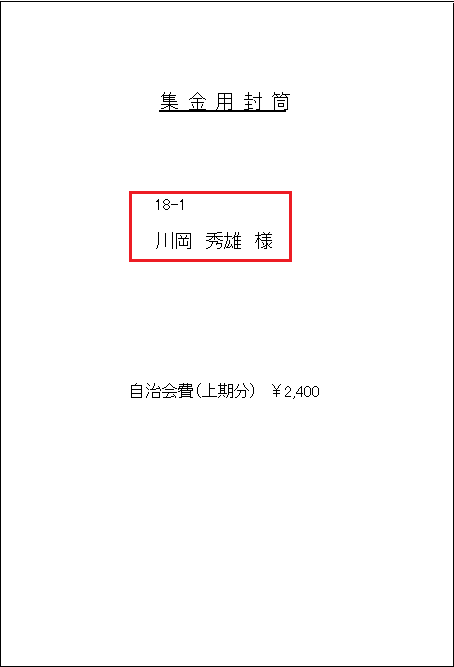


## 「集金洋形1号封筒」印刷プレビューイメージ画像

赤枠内は「番地」と「氏名」が2行挿入されています。

実際のプレビュー画面と少し違います。

図 4 封筒に宛名を印刷



## 「上期会費領収書」印刷プレビューイメージ画像

赤枠内、「番地」と「氏名」の2行を3組で合計6行が差し込みされたデータです。

このような難しい「差し込み元側」のデータでも「図 34選択範囲対象セル転送」のように「選択範囲対象セル転送コマンドアイコン」（「図 12 Excel差し込み文書のリボンの内容」の図の一番右のアイコン）がをクリックして簡単に作れます。

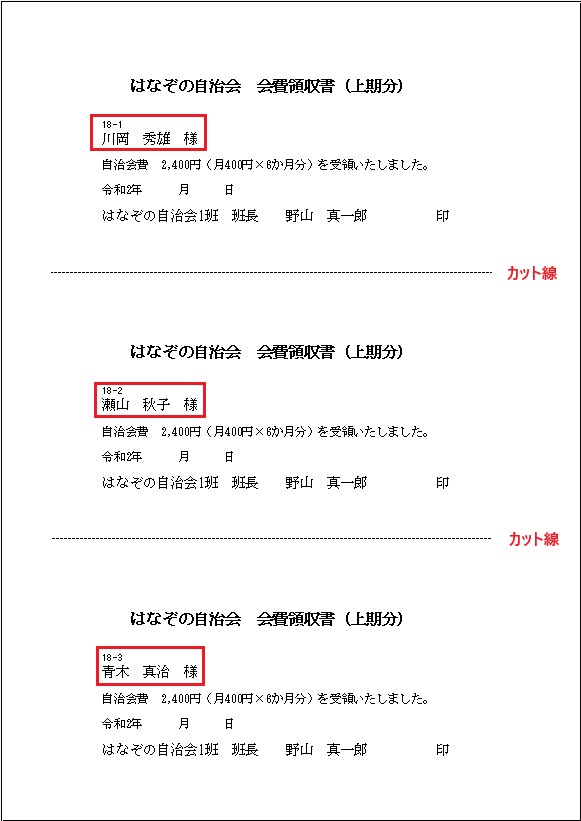


図 5 1頁に複数の宛名を挿入

# プログラムの目的・特徴

Excelで作った文書に宛名その他を個々の頁に印刷したい場合に差し込み印刷を実行します。Wordアプリケイションを使って文書を作る場合は、Excelに氏名等を入力して置き、Wordの＜差し込み文書＞－＜差し込み印刷の開始＞－＜印刷ウィザード＞を使って各頁に氏名等が簡単に設定でき、氏名等が差し込み印刷できますがExcelアプリケイションで文書を作る場合は上記のような差し込み印刷をする標準機能がないため本プログラムを使用して行・列、どのセルに何個でも簡単に差し込み印刷をすることができます。  
操作を簡単にするためリボンに「差し込み文書」のタブを付け、グループにはコマンドアイコンを用意して操作をし易く、どのシートからでも簡単に利用できるようにアドインプログラム方式を採用しています。（ユーザー用のファイルはどこのフォルダに保存しても、ファイル名はどんな名前であっても「Excel差し込み印刷.xlam」アドインプログラムは動作するので自由な位置に保存できます。）

# インターネットからダウンローしたファイルの内訳

ダウンロードファイル「Sashikomi\_Print.zip」を解凍すると「Excel差し込み印刷V2.00」フォルダの中に以下のようなファイルがあります。

## 解凍したファイルの内訳

### Excel差し込み印刷.xlam

### Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm

### サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx

### サンプル2\_上期会費集金A4用紙.xlsx

### サンプル3\_上期会費集金A4用紙.xlsx

### サンプル4\_上期会費集金A4用紙.xlsx

### サンプル5\_ALL\_A4用紙.xlsx

### Excel差込印刷説明書 V200.docx

### Excel差込印刷説明書 V200.pdf

### Readme.txt

このような「.」から右の文字を「拡張子」と言いWindowsパソコンは初期設定では表示しません。「１(1)拡張子について」を参照してぜひ表示させてください。その方がファイルの種別がつきやすくなります。

# 配布用ファイルの説明とインストール・アンインストール

## インストール前の注意事項 （重要）

インストールの前に下記「1)」～「7)」項を実行してください。いきなり「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」をクリックしてインストールを実行した場合は、「図 6 保護ビュー」を表示し、同図①のボタンを押すと「図 7 セキュリティリスク」を表示し、同図②のボタンを押すと以下の「インストール失敗」で説明のようになりインストールはできません。（インターネットからダウンロードまたは電子メールなどで取得したマクロを含む「Microsoft Office」製品はシステムからセキュリティーブロックをされてインストールできません。完全にファイルがロックされる場合もあり、ご注意ください！）



図 6 保護ビュー



図 7 セキュリティリスク

### デスクトップPCアイコンの「ダウンロード」フォルダの中、またはユーザーが指定したフォルダの中に「Sashikomi\_Print200.zip」ファイルができます。

### 同ファイルをダブルクリックで開くと「Excel差し込み印刷V2.00」ファイルを表示します。（ここまでは済んでいるので本説明書が見えているはずです）

### 同ファイルを右クリックして「切り取り」を押して「ドキュメント」フォルダへ「Excel差し込み印刷V2.00」を貼り付けしてください。

図 8 セキュリティ



### ドキュメントの「Excel差し込み印刷V2.00」をダブルクリックして＜Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm＞を右クリックしプロパティをクリックします。

### 「図 8 セキュリティ」が表示します。

### 同図の**①**「許可する」にチェックを入れて**②**の＜OK＞を押します。次に以下の操作に移ります。

### 以上が済んだ場合は「(2)インストール」の項に進んでください。

インストール失敗： 先に「1)」～「7)」項を実行しないでいきなり「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」をクリックした場合は前述したようにインストールすることができません。「図 6 保護ビュー」で①のボタン「図 7 セキュリティリスク」②の「詳細表示」ボタンを押した場合、「潜在的に危険なマクロがブロックされました」とWebページを表示して以後インストールすることはできません。  
インストールできないので「4)4)」の操作により改めて「図 8 セキュリティ」の図を表示しても同図の①の「許可する(K)」が表示しません。（繰り返すなどの状況によりこの表示画面はいろいろ変わります）表示しない場合はダウンロードしたファイルがブロックされているのでここで実行しようとして失敗したすべての「Sashikomi\_Print200.zip」、「Excel差し込み印刷V2.00」などダウンロードして操作したファイルすべてをPCから削除した後に、ベクターから再度ダウンロードしてあらためて前記「1)」～「7)」項を実行してください。

## インストール

### 解凍したフォルダ＜Excel差し込み印刷V2.00＞フォルダを開いて「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」を開きます。

### 「図 9 コンテンツの有効化」の図が表示します。



図 9 コンテンツの有効化

### 同図の「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

### 既にお気付きと思いますが、ファイルを開いた場合は画面に注意書きがあります。 「注意！ 本プログラムは処理を終了後、自動的にExcelを閉じてWindowsの画面に戻ります！他のブックを開いている場合はキャンセルして、すべてを閉じた上で再度 開いてください。」 とあるとおり、複数のブックを開いている場合は事前に他のブックを閉じて本プログラムだけを開いてください。

図 10 インストール



### 「図 10 インストール」の図が表示しています。

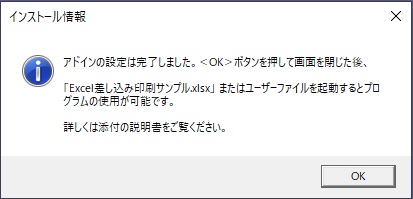


図 11 インストール完了

### インストールされるフォルダは次になります。

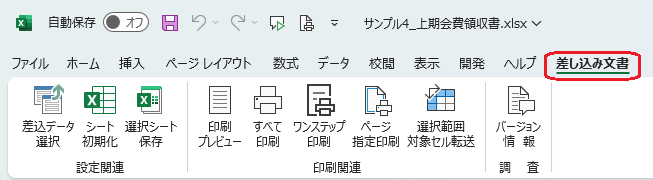
「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」になります。

### 「図 10 インストール」の図の＜インストール＞をクリックしてください。 「C:\Users\ユーザー名\OneDrive」フォルダに配布の「Excel差し込み印刷V2.00」を保存されている場合は同図の「プログラム保存パス：」は「https://～～」と表示します。

### インストールが完了すると「図 11 インストール完了」の図が開くので＜OK＞を押すとすべて自動で閉じてWindows画面に戻ります。

### 操作説明は「６「Excel差し込み印刷」アドインプログラムの使い方」で説明していますが、「１(1)3)サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を開くと「図 12 Excel差し込み文書のリボンの内容」の図を表示して使用が可能になります。

図 12 Excel差し込み文書のリボンの内容



### 次にアンインストールの説明をします。

## アンインストール

### 使用していたExcelファイルをすべて閉じ、次にExcel「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」を開くと「Excel差し込み印刷.xlam」がインストール済みの場合は自動的に「図 13 アンインストール」の図が開きます。

### 画面の「注意！」の内容を見て良ければ＜削除＞を押してください。

### 「図 14 アンインストール完了」の図が表示して＜OK＞をクリックするとアンインストールが終了しExcelが自動的に閉じてWindowsの画面に戻ります。

### 「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」にインストールしていた「Excel差し込み印刷.xlam」はアンインストールした場合は削除します。

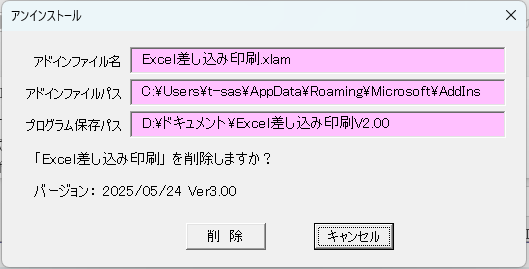


図 13 アンインストール

## 新バージョンに更新する場合

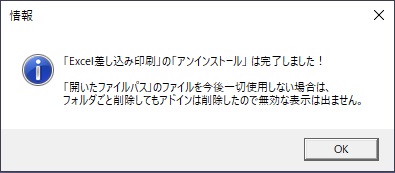


図 14 アンインストール完了

### 事前に「(1)インストール前の注意事項 （重要）」を実行しないとインストールできないので実行してください。

### 「Excel差し込み印刷」を使用していた場合は、解凍してできた「Excel差し込み印刷V2.00」をフォルダごとドキュメント等に保存してください。

### 同フォルダ内の＜Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm＞）をダブルクリックします。

### 「図 13 アンインストール」が表示するので＜削除＞をクリックしてください。

### アンインストールが終了すると「図 14 アンインストール完了」が表示するので＜OK＞を押してください。Excel画面は自動で閉じます。

### 続けて「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」をクリックします。

### 「図 10 インストール」が表示するので＜インストール＞をクリックしてください。

### インストールが終了して「図 11 インストール完了」が表示するので＜OK＞を押してください。

### 以上で新バージョンインストールは完了するのでこれまで使用していた試合ファイルを起動してバージョン番号が「Excel差し込み印刷V2.00」になっていることを確認してください。

### Excel差し込み印刷V2.00」より以前に使用していたフォルダは削除して構いません。

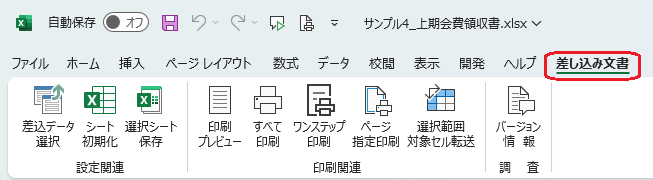
### 「１０」項で使用中のバージョン以降の項目に該当の場合は設定しないと動作しません。

# 「Excel差し込み印刷」アドインプログラムの使い方

## 「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」の説明

インストールが済んだ場合は「エクスプローラー」から「Excel差し込み印刷V2.00」フォルダの「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を開いてください。ファイルが開くと「図 15 差し込み文書タブ」の図の赤枠で「差し込み文書」タブがあるのでクリックすると同図のコマンドアイコンが表示します。「差し込み文書」タブはクリックしない限りは開きませんので手動でクリックしてください。

図 15 差し込み文書タブ



## 「差込データ選択」コマンドアイコンの機能の説明

「差込データ選択」コマンドアイコンを押すと「図 16 差込データ選択ダイアログ」の図が開きます。同図には「ファイル取込」と「差込元取込」の機能ボタンがあります。  
（「差込元取込」は薄い色になっていますが、このボタンは「差込元」シートからでないと機能しないため、別のシートでこのダイアログを表示すると薄い色になります）

## 「差込データ選択」ダイアログの説明

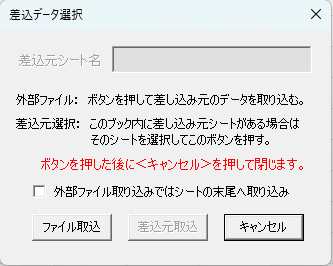


図 16 差込データ選択ダイアログ

**「ファイル取込」ボタン：**「図 25 フィル選択」ダイアログを表示して別のファイルのExcelブックを選択して表示状態のアクティブなシートを取り込む場合に使用します。  
このボタンの目的と機能については「(10)3)」項で説明しています。「外部ファイル取り込み～ ～」チェックボックスについても同項で説明しています。

**「差込元取込」ボタン：**「図 3 宛名を挿入」の図で赤枠内の番地「18-1」と氏名「川岡　英雄　様」などの文字列をシートに差込する場合、セル位置と、番地、住所、氏名などの文字データが入っているシートを選択して記載してある内容を設定するためのボタンです。

## 「差込データ選択」ダイアログ\_操作方法

### 既に「(1)」項で説明の「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を開いているシート見出しは「図 17 サンプル1を開いた図」のようになっています。 「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」ファイルには同図のように「上期会費集金A4用紙」、「差込元データ\_会費集金」の2個のシートがあります。

図 17 サンプル1を開いた図



## 「差込元データ\_会費集金」シートの説明

### 「差込元データ\_会費集金」シートをクリックしてください。

### 「図 15 差し込み文書タブ」の「差込データ選択」コマンドアイコンをクリックしてください。

### 「図 18 差込元取込」の図が開きます。左側の図の①＜差込元取込＞ボタンをクリックすると中央の図で②のように表示が切り替わります。

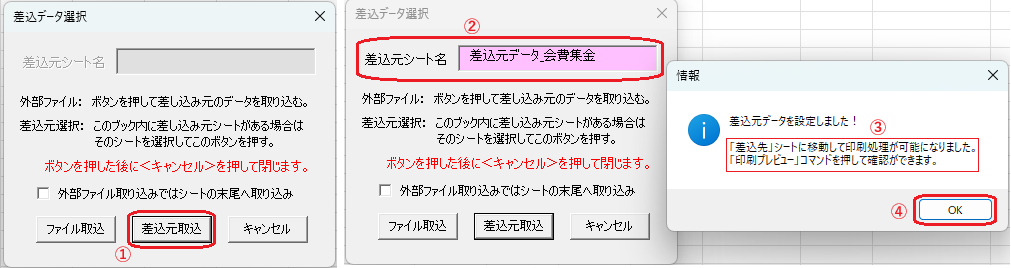


図 18 差込元取込

### 同図の右側の図が重なって表示するので、この図のように「情報ダイアログ」を右に移動すると中央の図のように見易くなります。

### 同図②の「差込元シート名」「差込元データ\_会費集金」は薄い陰の表示から正常な状態に変わって選択中のシート名である「差込元データ\_会費集金」を表示します。

### 同図の右側の赤枠内に『「差込先」シートに移動して印刷処理が可能になりました。「印刷プレビュー」コマンドを押して確認できます。』とありますが、「設定は完了した」印刷するためには「上期会費集金A4用紙」シートに移動してくださいということです。

### ④＜OK＞を押すと「図 18 差込元取込」のダイアログは自動的に閉じます。

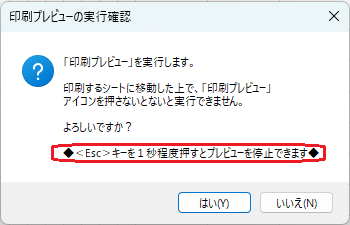
### 次の「(6)」項で「上期会費集金A4用紙」シートに移動して「印刷プレビュー」コマンドを押すことで、「上期会費集金A4用紙」シートの1枚に「差込元データ\_会費集金」シートの「番地」「氏名」のデータを表示する説明をします。

## 「上期会費集金A4用紙」シートで「印刷プレビュー」ボタンを操作する説明

「印刷プレビュー」の操作は必ず事前に「(5)」項での「設定」操作が必要です。

「印刷プレビュー」の操作は「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」～「サンプル4\_上期会費領収書.xlsx」、「サンプル5\_ALL\_A4用紙.xlsx」について、すべて同じ操作です。

図 19 印刷プレビューの実行確認



### 「上期会費集金A4用紙」シートを選択してアクティブ状態にしてください。

### 次に「図 15 差し込み文書タブ」の「印刷プレビュー」コマンドを押してください。

### 「図 19 印刷プレビューの実行確認」の図が表示します。注意点は、この図の赤枠内には「◆＜Esc＞キーを１秒程度押すとプレビューを停止できます◆」と表示しています。 （印刷プレビューとは、印刷する前に、印刷イメージを画面上で確認できるウィンドウのことです。このウィンドウでは、実際に印刷された時のレイアウトを事前に確認します。余白などの調整が必要な場合は、次の「１(6)5)5)」項の二重線の操作により「上期会費集金A4用紙」シートを調整します。 「設定」をし直す必要がある場合は、「差込元データ\_会費集金」シートで設定します）

### ＜はい＞を押してください。（＜いいえ＞を押すとこの実行を中止します）

### 「図 20 印刷プレビュー」の図が表示します。 （ここで表示する「印刷プレビュー」はExcelの「印刷プレビューと印刷」とは違い、このプログラムのオリジナルです。印刷画面の余白等の調整が必要な場合はExcelの「印刷プレビューと印刷」を表示して調整してください）

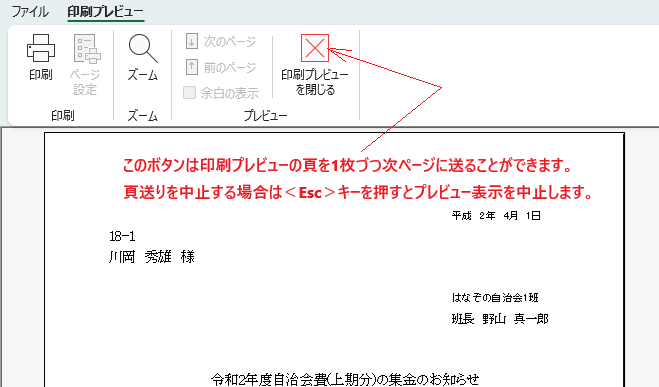


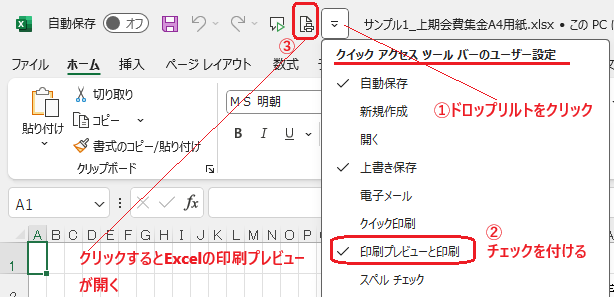
図 20 印刷プレビュー

**参考：**Excelの「印刷プレビューと印刷」ボタンの作り方は

「図 21 Excelの印刷プレビュー作り方と操作」の図の「Excelのを「クイックサクセスツールバー」に表示して置くと印刷余白などの調整をするときに便利です。作り方は同図の①、②の順に操作します。使うときは③をクリックします。

### 「図 20 印刷プレビュー」の図の赤色文字で記載したように＜印刷プレビューを閉じる＞ボタン「☒」を押すごとに「差込元データ\_会費集金」シートの「D2：E16」列で設定した番地や氏名の表示ページを変えながら最終まで表示し終わると「印刷プレビュー」を自動で閉じます。

図 21 Excelの印刷プレビュー作り方と操作



### 前記「3)」項で説明したように「印刷プレビュー」の表示中に＜Esc＞キーを1秒程度押すと「停止しますか？」と操作を継続または中止の確認を以下のように表示します。

#### ＜はい＞を押すと表示を停止します。

#### ＜いいえ＞を押すと中止しないで前出しの操作を継続することができます。

### 停止した場合は「上期会費集金A4用紙」シートには印刷プレビュー中に表示していた場所の「番地」や「氏名」を「上期会費集金A4用紙」シートの画面に表示します。先頭を表示させて終了する場合は、そのまま再度「印刷プレビュー」コマンドを押して最初の表示が出た時に＜Esc＞キーを押し＜はい＞を押すとトップページを表示します。

### プレビューで不具合がある場合で、「上期会費集金A4用紙」シートに何かの不具合がある場合は修正して「2)」項から再度実行します。

### 「差込元データ\_会費集金」シートで何かの不具合がある場合は修正して再度「2)」項から再度実行してください。

### 印刷については「７印刷関連グループの説明」項で説明しています。

## 「差込元データ\_会費集金」シートのセルの関連についての説明

### 「図 22 「差込元データ\_会費集金」シート」の図の1行目のタイトル行にはセルのコーナに赤色三角をポイントすると「メモ」があり簡単な説明を記載しています。



図 22 「差込元データ\_会費集金」シート

### 同図の赤色線で示しているように「差込元データ\_会費集金」シートから「差込データ\_会費集金」シート」へ転送する場合、以下の相対関係があります。

#### 転送元の「D1」セルには対象先セルが「A2」と記されており赤線の先の「A2」セルを見ると転送先セルは「番地」を転送先シートの「B3」セルに差込し、「D」列、各行の「18-1」「18-2」～～「18-15」を順次差込できます。

#### 同様に転送元の「E1」セルには対象セルが「A3」と記されているので赤線の先の「A3」セルを見ると転送先セルは「B4」と記載されており「氏名」を転送されます。 「E」列の各行「川岡　英雄」「瀬山　秋子」～～「吉岡　義人」が順次差込できます。

### Backup列は右方向の列に移動して横の列の「対象セル」列を増やせばA列で示す転送先シートに幾らでも挿入できます。Backup列の「L：M」列は「D：E」列などのフリガナとバックアップのためのデータです。次項の「6)」項で説明しています。別のシートにあっても構いませんがこの方が使い易いので同じシートに配置しています。

### 「F」列から「I」列は予備です。

### 「L」、「M」、「N」列でフリガナ順に並べ替え、番地と氏名を編集して「M」、「N」列を「D」、「E」にコピーします。失敗しても「L」、「M」、「N」を貼り付け再編集ができます。

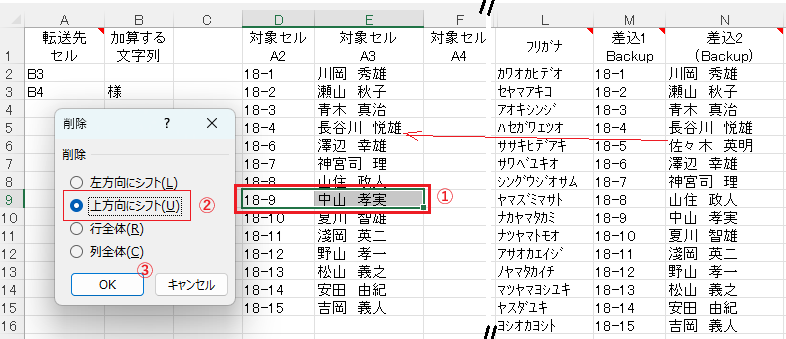


図 23 Backup列を張り付けて編集

### 「図 23 Backup列を張り付けて編集」の図ですが、M列とN列の2行から下をD列とE列の2行から下へ「コピー&ペースト」して印刷しない氏名赤色矢印の「佐々木　英明」を削除してあり、次に①で「中山　孝実」の行を削除するところの図になります。①で右クリックして＜削除＞を選択すると同図が開くので②の上方向にシフトを選択して③で＜OK＞を押すという編集例です。「Backup」の列は印刷時に「D」「E」列へ「コピー&ペースト」して不要な行を削除します。（使い回し用のため）ドラッグ選択して上にスライドして削除する方法もありますが適宜好きな方法で操作してください。

## 「上期会費集金A4用紙」シートの設定についての説明

### 「上期会費集金A4用紙」を選択すると「令和2年度自治会費の集金のお知らせ」があり左上の「B3」セルに「番地」、「B4」セルに「氏名」が入力されております。 ここに「差込元データ\_会費集金」シートの「D2」から下の列と「E2」から下の列を参照してデータを次々に差し込んで行きます。「上期会費集金A4用紙」シートはご覧のように1枚で「B3」セル、「B4」セルに「差込元データ\_会費集金」シートの内容を順次差込できます。 「上期会費集金A4用紙」シート（差込先シート）の「B3」セルの「番地」、「B4」セルの「氏名」を別の位置に変更した場合は「差込元データ\_会費集金」シートをの「A2」セル、「A3」セルの「内容」（位置情報の値）を替える必要があります。

### 「図 22 「差込元データ\_会費集金」シート」の図で「B」列のけ敬称の列は「A」の文字に「B」列を追加して「上期会費集金A4用紙」シートで表示するので例えば「B2」セルに「様」とか「御中」などを入力すると「上期会費集金A4用紙」シートには番地の位置で「18-1様」「18-1御中」などのように「B」列の文字をプログラムが追加します。従って「B」列のセルが空白なら何も文字列を追加することはありません。 「A4」セルより下方向のセルについても同じ行の「B」列の文字を追加できます。

### 「上期会費集金A4用紙」シートに例えば「氏名」だけ1行を差し込む場合は（番地が不要の場合）「図 24 氏名列だけ挿入」の図のように「上期会費集金A4用紙」シートの「A3：B3」セルの文字を上のセルにドラッグしてし「E2：E16」セルを「D2：D16」セルに移動して「E」列を空白セルにし、「上期会費集金A4用紙」の「A3」セル空白にし「(5)1)「差込元データ\_会費集金」シートをクリックしてください。」の項から実行すれば「氏名」だけを印刷することがお解りいただけると思います。

### 「転送元シート」については、どこに配置していても構いませし、赤色の「転送元シート」見出しは、プリントプレビューや各腫の印刷は同時にするわけではないので「転送元シート」も同じブック内に何個あっても構いません。各コマンドアイコンを押す前にセルのどの位置にデータを差し込みするなどの設定をして共通に使い回しができます。（但し、シート名の付け方は次項の「1)」項のは決まりがあります）

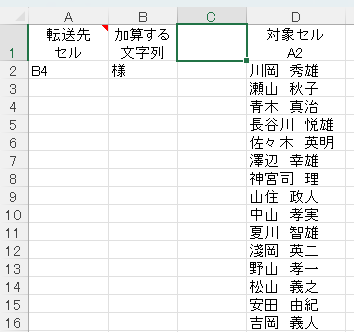


図 24 氏名列だけ挿入

## ユーザー用のファイルを作る場合（重要）

### ユーザー用のファイルはサンプルファイルをコピー&ペーストして内容を変更して自由に作ってください。重要なことは転送元のシート（「図 22 「差込元データ\_会費集金」シート）はシート名の「差込元データ」の先頭の6文字はプログラムが「差込元」のシートであるということを判別するために必要です7文字目以降は有っても無くても問題ありませんので差込元のシート名を付ける場合は必ずシート名の先頭に「差込元データ\_」と付けてください。（「\_」アンダーバーについては、プログラムは読み込みませんが使用者が先頭5文字が「差込元データ元」であることを認識し易いと思います）

### ユーザー用のファイルはどこのフォルダに保存しても「Excel差し込み印刷.xlam」アドインプログラムは動作するので自由な位置に保存できます。 そのほか「Excel差し込み印刷」は、ユーザー用のデータファイルは、どのような名前のExcelブックであっても動作します。

## ユーザー用データファイルを作る場合

### 「(9)1)」項で記載したように添付のサンプルを「コピー&ペースト」してユーザー用ファイルを作り「差込元データ\_会費集金」シートでシート名を「差込元データ\_氏名差込」など適当に付けてシートの各行を設定してください。

### 次に「上期会費集金A4用紙」シートで「名前の変更」をして次項の「(11)シートの初期化コマンドアイコン」を実行するとシートが初期化します。

### 既にある文書を取り込むのであれば「図 16 差込データ選択ダイアログ」の図で「ファイル取込」ボタンを押すと「図 25 フィル選択」の図を表示してユーザー用ファイルを取り込むことができます。取り込みをするファイルに複数のシートがある場合はファイルを開いた場合に、取り込むシートが表示される状態で保存されている必要があります。「(12)「選択シートの保存」コマンドアイコン」を使用すると「7)サンプル5\_ALL\_A4用紙.xlsx」ファイルなどを使用して、このことに対応できます。（ファイルを開いた場合にシートを選択することはできないため）シートの取り込みについては次の事があります。「ファイル取込」ボタンを押す前に以下の点にも注意してください。

#### チェックボックスが「OFF」の場合は取り込んだファイルは現在表示中のシート見出しの「先頭」に取り込んで表示します。

#### チェックボックスが「ON」の場合はシート見出しの「末尾」に取り込んで表示します。

## シートの初期化コマンドアイコン

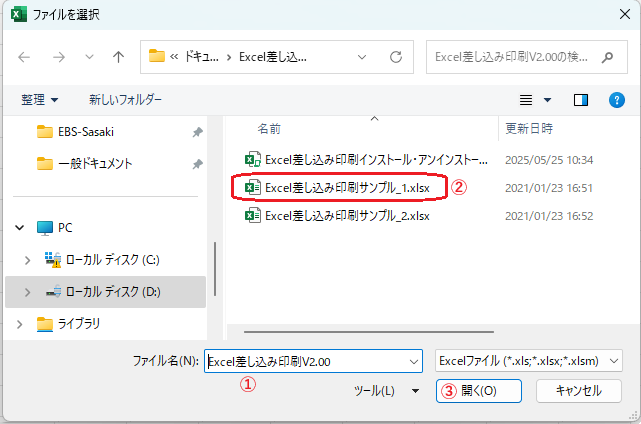


図 25 フィル選択

### このコマンドアイコンを使用しないで列密度を狭くした枠線を残して取り込みしたいのであれば左上の全セル選択ボタンを押して「Delete」キーを押せばすべての文字がクリアするので列密度を狭くした枠線を利用して自由に文章が作れます。

### シートの初期化は「上期会費集金A4用紙」シートを表示して「シートの初期化」コマンドアイコンを押します。シートがすべて空白になり初期化されます。

### シート見出しだけ元のままなのでシート名を変更して使うことができます。

## 「選択シートの保存」コマンドアイコン

### 「選択シートの保存」コマンドアイコンは複数のシートがある場合、そのうちの表示しているシート（アクティブシート）のみを1個のブックとして名前を付けて保存するための機能です。

### 後述する説明でお気づきになれますが、ユーザーが新しいブックに文章を作って使用される場合には、本サンプルから「差込先データ」シートまたは「差込元データ」シートが記入されているシートを、名前を付けて1個のブックとして保存（書き出し）し、前項の「(10)3)」項のファイルを開いてシートを取り込む場合に応用されると有効に機能すると思います。

## 「サンプル2\_下期会費集金A4用紙.xlsx」の説明について

### 「下期会費集金A4用紙」については「(8)(6)1)」項と同様で差込元シートについても「(7)「差込元データ\_会費集金」シートのセルの関連についての説明」と同様のため省略します。

## 「サンプル3\_集金洋形1号封筒.xlsx」の説明について

### 「集金洋形1号封筒」シートの「印刷プレビュー」を表示すると「図 4 封筒に宛名を印刷」のようになります。「差込元データ\_集金封筒」シートの説明は「(7)「差込元データ\_会費集金」シートのセルの関連についての説明」と同様のため省略します。

## 「サンプル4\_上期会費領収書.xlsx」の説明

### 「集金洋形1号封筒」シートの「印刷プレビュー」を表示すると「図 5 1頁に複数の宛名を挿入」のようになります。「差込元データ\_集金封筒」シートの説明は「(7)「差込元データ\_会費集金」シートのセルの関連についての説明」と同様でセルの関連は「図 26 「差込元データ\_上期会費領収書」シート」の図のようになります。

## 「サンプル5\_ALL\_A4用紙.xlsx」の説明

### シート見出しは「図 27 サンプル5\_ALL\_A4用紙シート見出し」の図になります。

### このように「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」～「サンプル4\_上期会費領収書.xlsx」を1個のブックにまとめた場合でも前出しの説明と同じように機能します。過去のバージョンではまとめて説明しましたがわかりにくいのでサンプルを1個ごとに分けて説明しましたがこのような手法でも運用できるので応用してください。



図 26 「差込元データ\_上期会費領収書」シート



図 27 サンプル5\_ALL\_A4用紙シート見出し

# 印刷関連グループの説明

## 「印刷プレビュー」コマンドアイコンの説明

### 「１(6)「上期会費集金A4用紙」シートで「印刷プレビュー」ボタンを操作する説明」で説明しているのでそちらをご覧ください。

## 「すべて印刷」コマンドアイコン

### 「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を開いてください。

### 「１(5)「差込元データ\_会費集金」シートの説明」での説明を再掲載しています。 「差し込み文書」タブの「差込データ選択」コマンドアイコンをクリックすると「図 28 差込元取込」の図の左側が開きます。同図①の＜差込元取込＞ボタンをクリックすると中央の図②が開きます。

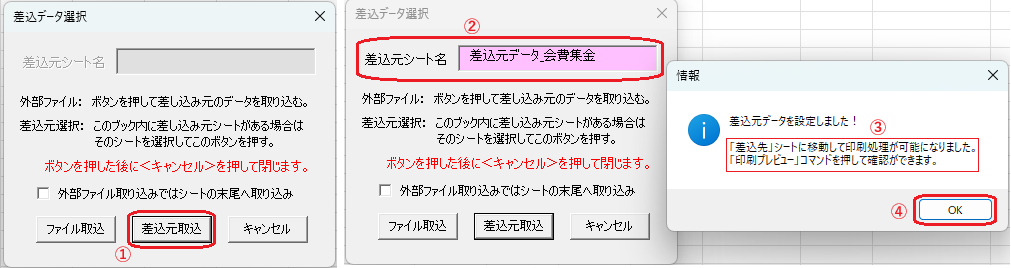


図 28 差込元取込

### 同図の右側の図が重なって表示するので、この図のように移動すると見易くなります。

### 同図②の「差込元シート名」「差込元データ\_会費集金」は薄い陰の表示から正常な状態に変わって選択中のシート名である「差込元データ\_会費集金」を表示します。

### 同図の右側の赤枠内に『「差込先」シートに移動して印刷処理が可能になりました。「印刷プレビュー」コマンドを押して確認できます。』とありますが、これは「差込元取込」ボタンを押して設定が完了し、このシートは印刷をするための準備が完了します。

### ④＜OK＞を押すと「図 18 差込元取込」の図は自動的に閉じます。

### 「上期会費集金A4用紙」シート見出しをクリックして同シートをアクティブにしてください。

### 「すべて印刷」コマンドアイコンをクリックすると「図 29 すべて印刷の実行確認」の図が開きます。

### 同図で＜はい＞をするとすべてのページを印刷します。ここでも＜Esc＞キーを1秒程度押すと実行を停止することが書いてあります。しかし＜Esc＞キーに手を置いて＜はい＞を押しても早いので1枚ぐらいはすぐに「印刷ジョブ」のバッファに入ってしまいます。

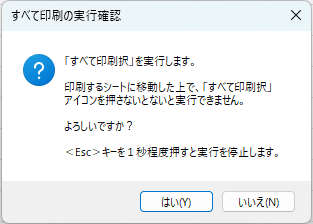


図 29 すべて印刷の実行確認

### 無駄な印刷をしないようにしてお試しください。 「デバイスとプリンターのショートカット」アイコンを次の手順で作って置けば印刷をすべて取り消せます。これがあると通常の「印刷で使用する場合」でも大変便利です。

## 「デバイスとプリンター」を表示して「印刷ジョブ」を＜キャンセル＞する

プリンターの電源を切っておけば前記「印刷」のコマンドアイコンをクリックしても用紙を無駄にすることはありません。ただし印刷ジョブにデータが溜まるので間違った場合、または忘れていて後で電源を入れると一気に印刷してしまいます。それを防ぐには「デバイスとプリンター」アイコンをスタートメニューに作って簡単に表示できるようにしておくと便利です。一例ですが次のようにします。

### 「図 30 デバイスとプリンター」の図の左の図の赤枠にあるメニュー＜Windowsシステムツール＞をクリック－＜コントロールパネル＞－右上の、「表示方法カテゴリ」の＜大きいアイコン＞をクリック－＜ハードウェアとサウンド＞－＜デバイスとプリンター＞を右クリックして「スタートメニューにピン止め」をクリックします。

### 「図 30 デバイスとプリンター」の左の図の**①**の「デバイスとプリンター」アイコンができるのでクリックします。

### 同図の中央の図が開くので通常使うプリンター**②**を右クリックします。

### 同図の**③**を「印刷ジョブの表示」をクリックします。

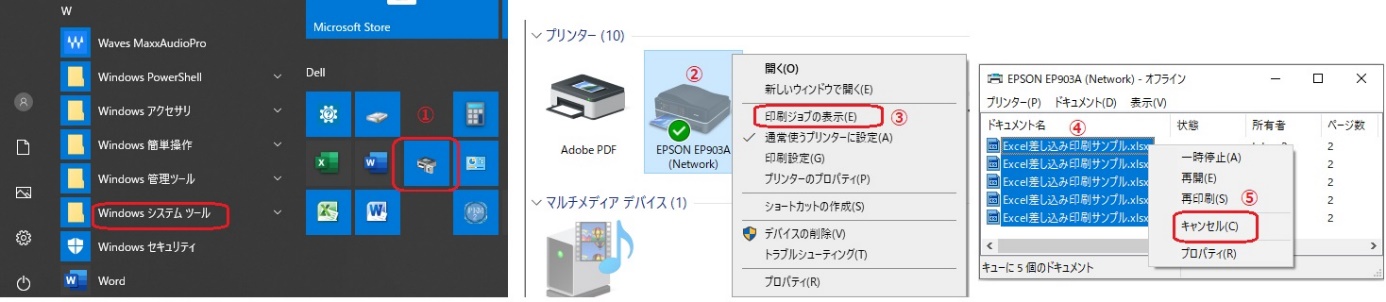


図 30 デバイスとプリンター

### 右の図で**④**が表示します。この状態は5個の印刷ジョブがプリンターの電源OFFをしているために溜まった状態です。

### 削除するにはトップ行を選択し次に「Shift」キーを押しながら最後の行をクリックするとこの図のように印刷ジョブが「青色」に表示しすべてが選択されます。

### その青色の字幕の上で右クリックすると**⑤**が表示するので＜キャンセル＞をクリックします。

### 「図 31 プリンターのドキュメントを削除」の図が表示するので＜はい＞をクリックするとドキュメントが削除されて印刷することはありません。1個だけが削除されない場合もあるので何度も何度も＜キャンセルボタン＞をクリックします。それでも削除されない場合は一旦「印刷ジョブ」を閉じて再度開き＜キャンセル＞を何度か押すと溜まった印刷ジョブが消えます。

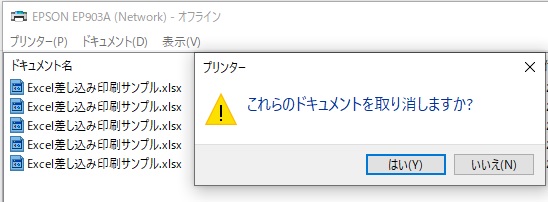


図 31 プリンターのドキュメントを削除

## 「ステップ印刷」コマンドアイコン

### 「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を開き「差し込み文書」タブを開きます。

### 「差込元\_データ会費集金」シートに移動します。

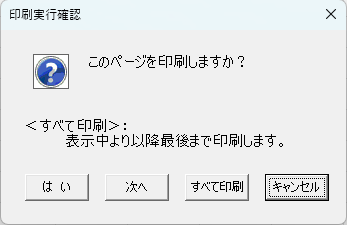
### 「差込データ選択」コマンドアイコンをクリックします。

### 「図 28 差込元取込」のところで説明したように。同図①の＜差込元取込＞ボタンをクリックして「差込元データ\_会費集金」シートの設定をします。

### 「上期会費集金A4用紙」シートに移動して「差し込み文書」タブの「ステップ印刷」をクリックすると、「図 32　1ステップ印刷の実行」の図のように表示したシートの差し込み状況を確認して、＜はい＞を押すと1ページ印刷し、各ページを確認しながら1ページごとに印刷できます。＜次へ＞は表示しているプレビュー画面の頁をスキップします。

### ページを印刷している途中から＜すべて印刷＞を押せば最終頁まで印刷できます。

図 32　1ステップ印刷の実行



### これらの操作以外は前項「(2)「すべて印刷」コマンドアイコン」と同じ要領ですので省略します。

## 「ページ指定印刷」コマンドアイコン

「ページ指定印刷」は他の「印刷プレビュー」、「すべて印刷」、「ワンステップ印刷」の操作とは異なります。ご注意ください。

ページ指定印刷とは「差込元」シートで印刷するページを指定することができます。「差込元\_データ会費集金」シートでセルをドラッグして範囲を選択して印刷できます。（飛び選択ができないので便利と言うには至りません）操作は以下のとおりです。

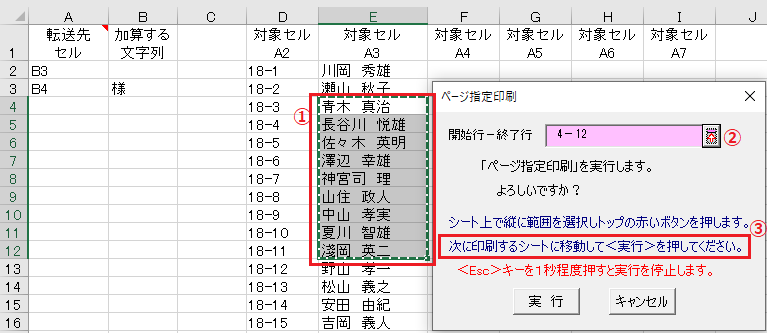
### 「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」を開きます。

### 「差込元\_データ会費集金」シートに移動します。

### 「ページ指定印刷」コマンドアイコンをクリックします。

### 「図 33　ページ指定印刷」の図が開きます。

図 33　ページ指定印刷



### 同図**①**のように印刷する範囲を垂直にドラッグします。「列」は番地の列であっても番地と氏名の列を複数列にまたがっていても構いません。（行番号だけを取得します）。

### 同図の**②**のボタンをクリックすると「開始行－終了行」に印刷範囲の行番号を表示します。間違った場合はそのままシート上をドラッグし直してください

### 同図の**③**に書いてあるように印刷するシートの「上期会費集金A4用紙」シートに移動してください。

### 同図で＜実行＞をクリックすると指定のページが印刷されます。

### ＜Esc＞キーを1秒程度押すと印刷は中止できますが、印刷ドキュメントが印刷ジョブに入るのが早いので試す場合は電源OFFで実行し「(3)「デバイスとプリンター」を表示して「印刷ジョブ」を＜キャンセル＞する」を実行する必要があります。

## 選択範囲対象セル転送コマンドアイコン

「上期会費領収書差込データ」シートを表示してください。「図 34選択範囲対象セル転送」の図のダイアログが表示します。  
「L2：M16」の「番地」と「氏名」を「D2：I7」の横方向に配列しますが、手作業では大変なので、本プログラムを使って配列する説明です。その前に次をご覧ください。

差し込み先シート「上期会費領収書」には1枚のページに3人分の印刷で、番地と氏名の位置に1人が2セルで3×2＝6個の差し込みデータとなります。

転送元シート「上期会費領収書差込データ」のA列でこのことが示されています。

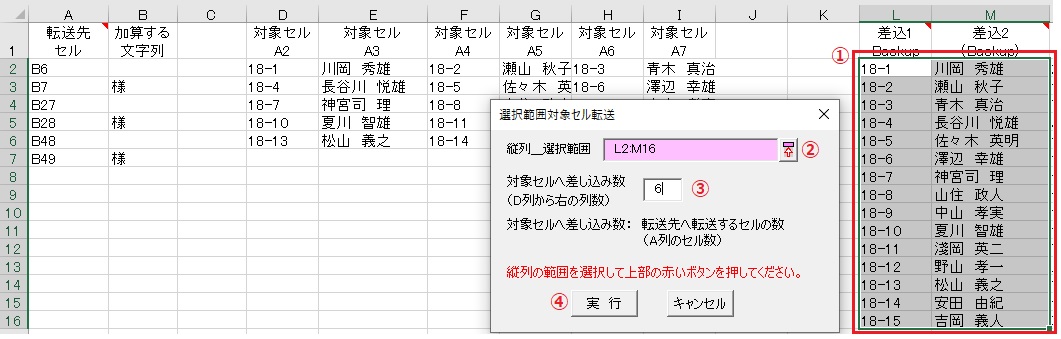


図 34選択範囲対象セル転送

「D：I」列の対象はA列の2行～7行になります。

上記赤い文字の6個ですが仮にこの数が多い場合は、終了列は「I」列と言うことではなくデータの数によって右に増えていきます。従ってドラッグする側の「L：N」は右に移動すればよいのです。

配列が「D列」から始まるのは、どんな場合でも固定です。

**終了列の計算：** 「転送先」シートへの挿入数はA列で縦方向の数が6個

D列から数えて右横に6列の「I」列までが差し込みされます。

簡単に配列するため以下の操作説明で「L2：M16」の「番地」と「氏名」を「D2：I7」の横方向と縦方向に配列します。

### 最初に「差込元データ\_上期会費領収書」シートに移動してください。

### 「選択範囲対象セル転送」コマンドアイコンをクリックします。

### 「図 35 選択範囲対象セル転送」の図が開きます。

### 以下は読むだけとして最後まで目を通した後、「D2：I7」をドラッグして文字列を削除してからお試しください。

### 「図 34選択範囲対象セル転送」の図の**①**の「L2：M16」の範囲をドラッグします。（逆に先に範囲をドラッグしてから「2)」項の「選択範囲対象セル転送」コマンドアイコンをクリックしても構いません。

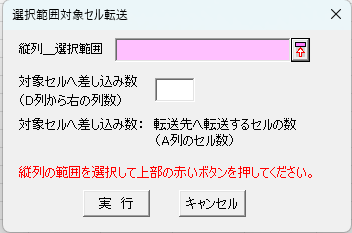


図 35 選択範囲対象セル転送

### **②**の赤いボタンをクリックすると「縦列－選択範囲」に「L2:M16」とドラッグした範囲を表示します。

### **③**の「対象セルへ差し込み数（D列から右の列数）」に「6」と入力します。この意味は前述した「D：I」列が6列ありその対象セル「A2：A7」が6個あり転送する数となります。

### **④**の＜実行＞をクリックします。

### 「D2：I7」列にデータがコピーされます。

### 以上の説明では既にデータが入っていたので実際に文字列が転送されたかはよく分かりませんので「D2：I7」をドラッグして文字列を削除してお試しください。

* この機能は便利なので差し込み印刷以外にも縦から横の並べ替えに応用でき、Wordの差し込み元デーにも使えるのでご利用ください。この例ではドラッグの列は2列にデータがありますが文字を入力すれば何列でも横列指定の折り返し転送できます。

# トラブルが起きた場合

## 差し込み文書タブが表示しない、ダイアログが操作できない、その他の異常

予期しない誤り操作やプログラムが処理に対応できない場合、いわゆる「こけて」しまって「差し込み文書」タブが操作できなくなったなどの場合は、そのまま次の「アドインを再起動」の操作で復旧できます。

### ＜Alt＞－＜t＞－＜I＞の順にキーを押してください。

### 「図 36 アドインを終了し再起動する」の図の「アドイン」ダイアログが開くので「Excel差し込み印刷」のチェックを外し＜OK＞を押すとアドインダイアログが消えます。

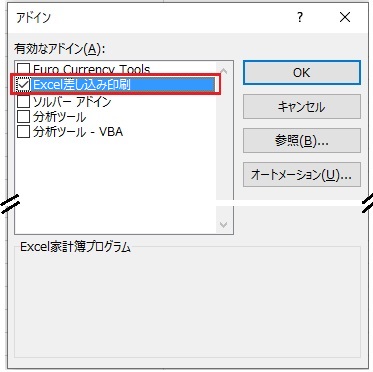


図 36 アドインを終了し再起動する

### 再度＜Alt＞－＜t＞－＜I＞の順にキーを押してください。

### 「アドイン」ダイアログが開くので「Excel差し込み印刷」のチェックを「ON」にして＜OK＞を押すとアドインダイアログが消えます。

### 以上で「差し込み文書」タブが復旧して修復します。

# 必要な時だけ「差し込み文書」タブを表示する方法

### 「１(2)インストール」の項でインストールが済んでいる必要があります。

### 前項「1)」項のように＜Alt＞－＜t＞－＜I＞の順にキーを押してください。

### 「図 36 アドインを終了し再起動する」の図により「アドイン」ダイアログを表示して「Excel差し込み印刷」のチェックを「OFF」にして＜OK＞を押すと「差し込み文書」タブは消えます。

### 再度「差し込み文書」タブを表示する場合は＜Alt＞－＜t＞－＜I＞の順にキーを押して「アドイン」ダイアログを表示しチェックを「ON」にして＜OK＞を押すと「差し込み文書」タブが追加します。クリックしないとコマンドアイコンは表示しません。

### これらの操作は「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」に保存された「1)Excel差し込み印刷.xlam」をチェック「ON」で読み込みしたり、「OFF」で読み込みを外したりする操作になります。

# バージョンの変更内容

バージョンは「バージョン情報」ボタンを押して確認できます。  
初版は2020.06.14でVer.1.00開発、Ver1.01はバク修正をしていますが何れもベクターなどには公開していません。

## バージョンアップについてシートなどの変更内容

### Ver1.02バージョンアップの内容

#### ボタン方式をリボンにして公開発行し事実上の初版です。

### Ver1.03バージョンアップの内容

#### 日付がかなり経ったためVer2.00で説明の内容が変わったため省略します。

### Ver2.00バージョンアップの内容

#### 「C:\Users\ユーザー名\OneDrive」フォルダに配布の「Excel差し込み印刷 \*」（\*：バージョン番号）を保存し「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」を実行した場合、OneDriveの「https://～～」のクラウドを参照してインストールができない事態があり、「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」を修正し、インストールを可能にしました。OneDriveフォルダにインストールしてない場合は問題ありません。

#### 重要！ これまでご使用のバージョンがある場合はシート名の変更が必要です。 「１(9)1)」によりシート名を変更してください。「１(9)2)」項は参考事項です。 「１(4)新バージョンに更新する場合」で説明した、プログラムをダウンロードファイルのプロパティから「セキュリティ」で「許可する」にチェックマークを付けた後、「アンインストール」し、再度「インストール」により新バージョンに修正できます。

#### 説明書がわかりにくかったために全面的に修正しています。誤操作した場合に通知表示をしてできるだけわかり易くしました。

#### 2026/01/20　の本説明書の修正と「Readme.txt」に記載のように E-Mail: アドレスを変更しました。

# 拡張子の説明

## 拡張子について

* + 1. ファイル名の例

「サンプル1\_上期会費集金A4用紙.xlsx」（この場合「xlsx」が拡張子です）  
ファイル名の最後に表示する「．」から右側に表示した文字列で、ファイルの種類または形式を識別する目的ですExcel2000～2003では「xls」、Excel2007以降のバージョンの場合は「xlsx」となります。  
Word2000～2003の場合は「doc」Word2007以降では「docx」となります。  
Excel2007以降で、「Excel差し込み印刷インストール・アンインストール.xlsm」のようにマクロを含む場合は「xlsm」となります。

* + 1. Windows10の拡張子の表示方法：
    2. エクスプローラーを開きトップの＜表示＞タブを選択します。
    3. ＜オプション＞を選択します。
    4. 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの＜表示＞をクリックします。
    5. 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。

## Windows11の拡張子の表示方法：

* + 1. エクスプローラーを開きトップの「…」をクリックして＜オプション＞を選択します。
    2. 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの＜表示＞をクリックします。
    3. 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。